

こども歴史教室発表を終えて

子育て奮闘記

東 あづま
愛子 あいこ

10歳、7歳、5歳の3人の息子達の母です。長男の瑞喜（みずよし）が歴史好きな事から、私も共に勉強してみたいと思い、横浜歴史研究会に入会させていた、まさした。瑞喜は、戦国の世を終わらせて天下統一を成し遂げた徳川家康が一番好きで、今年の夏休み子供歴史研究会でも、徳川家康について発表させていた、まさした。歴史研究会の理事の皆さまのお陰で、このような大変貴重な機会をいただき、心から感謝申し上げます。

今振り返ってみますと、瑞喜は小さい頃からとても好奇心旺盛で明朗活発で、どんな事をやらせても積極的に取り組み、どこに連れて行っても物怖じしない子でした。そんな瑞喜の子育てで私が一番印象に残っていることは、瑞喜が満足するまで絵本の読み聞かせをしたことです。寝る前に「好き

な絵本を持っておいで」と声をかけると、嬉しそうに何十冊も読みたい本を持って来るのですが、瑞喜が寝るまで読んで聞かせました。また心がけていた事は、どんな事でも、結果より頑張った経過を褒めてあげる事。いろんな場所に連れて行って本物を見せる事。次第にごく自然に乗物や本が大好きになりました。

小学校に通い始めて、図書室でいろんな本を手に取り、だんだんと歴史の本を借りて来るようになり、歴史好きになっていきました。今ではトイレにも持ち込んで読むほどです。歴史の本を読んで覚えたい事を、よくクイズにして出題してくれます。これからも、歴史研究会でもっともっと大好きな歴史について学べる事を楽しみにしているようです。

私自身は、結婚前は10年ほどシンガポールに在住して、外資系航空会社に勤め、シンガポールから日本、アメリカなどを行き来しておりました。小さい頃から英語が大好きで、また飛行機に憧れていましたので、夢を叶えて働けた事は、とても素晴らしい経験でした。シンガポールは多民族国家で

すので、私の勤めておりました会社でも人種、民族、言語、文化が違ふ人々が、同じ志を持つて一つのチームで働いていました。その経験は、かけがえのない私の財産となっています。子供達には自分の経験を元に、いろんな話を聞かせておりましたが、中でも常に心がけて話している事は、常に広い視野で物事を見る事、人種差別や偏見を持たない柔軟な平等な心を持つ事、何歳になっても諦めないでチャレンジし続ける事です。子供たち一人一人が、日常のどんなに小さな事でも、多くの幸せを感じながら生きて欲しいと思いがながら育児に奮闘しております。

三男が来年からは小学生になりますので、お城巡りやゴルフの練習も再開したいと思っております。歴史研究会の毎月の定例会にももっと参加させていた、ただけるのを楽しみにしております。今後も、親子共々よろしく願いたします。

【筆者紹介】

平成28年10月入会。横浜市都筑区在住。趣味は旅行、お城巡り、エクササイズ、美味しい物を食べる事、ゴルフですとのこと。

受贈図書

会長 加藤 導男

全国各地の歴史研究団体より、会報等をご恵贈いただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。（平成三十年七月三十一日現在）

最新到着分を掲載いたします）

◇日立歴史研究会

「ひたち歴史」第35号

◇江戸の歴史研究会

「会報江戸」第155号

◇中国の歴史と文化を学ぶ会

「中文会ニュース」第61号

◇静岡県歴史研究会

「会報」第152号

◇愛知歴史研究会

「あいち歴史会誌」第155号

◇しんあいち歴史研究会

「歴史会誌」第73号

◇大阪歴史懇談会

「会報」第408号

◇「歴史懇談」第32号

◇兵庫歴史研究会

「歴史ひろば」第266号

◇「兵庫歴史」第34号

◇岡山歴史研究会

「歴史おかやま」第22号